

Voilà!

カメルーンからこんにちは!

2022年9月 N°8 (huit)

C'est la vie!

JICA 海外協力隊 2021 年度 3 次隊 小島由紀子

せかい 世界にたった1つ! わたし 私だけの びく 服

カメルーンをはじめとするアフリカ地域では、アフリカンプリントといわれる模様の入った布を使って仕立て屋さん^{したてやさん}に服を作ってもらい、着ることがよくあります。カメルーンでは、このアフリカンプリントの布のことを「パーニュ」と呼びます。「キテンゲ」と呼ぶ国や地域もありますが、それと同じものだそうです。カメルーンの人たちは、日本でみなさんいつも着ているような「洋服」も着ますが、パーニュを身に付けておしゃれを楽しむ人もたくさんいます。仕立て屋さん^{したてやさん}に、自分の好きな形に仕立ててもらうので、どれも世界で1つだけの服! 私^{わたし}もすてきな布を選んで何^{なに}着^きか仕立ててもらいました。



行事や特別な日には、みんなでおそろいのパーニュを買って、服をそろえることもあります。それぞれの個性が出ておもしろいです!



パーニュはとても乾きやすい生地なので、毎日手洗いで洗濯をしていて上手に水をしぼれなくても、1日ですぐに乾いてくれます! 雨季の涼しい日でもすぐに乾くすぐれものです♪

~カメルーンの服ができるまで~

お気に入りの模様の布を探して布を買います。すてきな色・模様がたくさんあって、選ぶのもたいへんけど楽しい!!

身体のサイズやデザインに合わせてミシンを使って作ってくれます。



布屋さん

仕立て屋さん

仕立て屋さん

★できあがり★



作^{つく}ってほしい服^{ふく}の形^{かたち}を伝^{つた}えて、作^{つく}るのに必要^{ひつよう}な身体^{からだ}のサイズ^{はか}を測^{はか}ってもら^{もら}います。



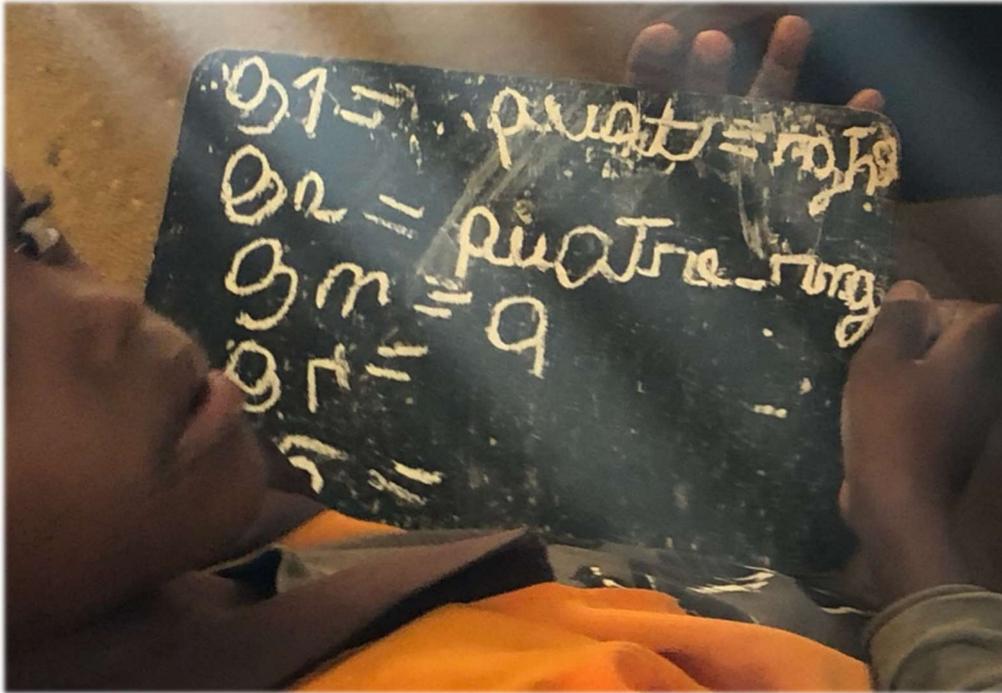
3日~1週間^{しゅうかん}くらいで、服^{ふく}ができてあ^あがります。試^し着^{やく}して、微^び調整^{ちようせい}してできあ^あがります★



カメルーンでみーっけ!



この写真をじっくり見て考えてみよう! **なにが気付くことはあるかな?**



これは、**小学校2年生が練習ノート**のかわりに使っている**ミニ黒板(石盤)**です。この子は、**数字とフランス語で91~95までの数字**を書いています。数字だけ見ても、ところどころ向きが違うのがわかりますか? この学校には、正しく**数字やアルファベット**を書くことが**難しい**子が何人もいました。

9月8日は国際識字デー。みなさんは「識字」という言葉を知っていますか? **カメルーンの15~24歳の識字率(2019年)は、男子88%、女子82%**。(世界子供白書2021より)。**約4人に1人**が、文字を読んだり書いたりすることができないということです。15歳というと**小学校や中学校を卒業**しているくらいの年齢です。でもさまざまな理由で学校に行くことができなかったり勉強ができなかったりして、大きくなって**文字の読み書き**ができないのです。

もしも文字の読み書きができなかったら...と想像したことはありますか? **文字の読み書きができるとよいことは何でしょう?** たとえば「危険だから入ってははいけません」という看板の文字が読めるので危険なところに入ってしまうことはありません。「これは毒です」と書いてあるものを**薬と間違えて飲んでしまう**こともあります。名前が書けるので、大事な書類にサインもできます。**生活の中でも読み書きは欠かせません**。また、読み書きができると、本を読めたりお手紙を書けたりして**楽しい**こともあります。

カメルーンの幼稚園や小学校では**文字の「読み書き」の勉強**をととても大事にしています。幼稚園から、**何度も何度も勉強**します。それでも学校の先生たちは、「文字を読んだり書いたりできない子が多くて困っている」と言っていました。**小学校1年生が終わるころ、文字を正しく書くことができないと、次の年も進級せずにもう一度1年生をやり返して**もらうそうです。

日本ではひらがなや漢字もドリルなどを使って**学習して練習**しますね。教科書を家で音読して文字を読む練習もしますね。でも、カメルーンの多くの子どもたちはドリルや教科書は簡単に手に入りません。そんな中で私は、**どうしたら少しでもカメルーンの子どもたちが文字を覚えて読んだり書いたりできるようになるかな?**と考えるながら、**楽しい活動を取り入れていくお手伝い**をしています。